

災害安全マップと機械翻訳を介した異文化コラボレーションシステム

池田佳泰, 吉岡洋輔, 北村泰彦

関西学院大学理工学部

{yoshi_ikeda, yo-yoshioka, ykitamura}@kwansei.ac.jp

研究の背景と目的

- 近年、情報通信技術の発展により、インターネット経由による異文化コラボレーションが可能になった。
- 防災世界子ども会議** *1 は JEARN が推進する異文化コラボレーションプロジェクトであり、災害安全マップを介した防災協働学習と異文化交流を行っている。
- 異文化コラボレーションにおける最大の壁は言語の違いであり、母国語を用いてコミュニケーションするには機械翻訳などの言語支援が必要である。
- 災害安全マップと機械翻訳を介した異文化コラボレーションシステム CoSMOS を開発した

*1 <http://ndys.jearn.jp/ja/index.html>

異文化コラボレーションシステム CoSMOS

- CoSMOS*2 には以下の特徴がある
- ① **GoogleMap とのリンク**: 災害安全マップを世界地図上にプロットし、どの地域の災害安全マップかわかるようにした。
- ② **災害安全マップ表示**: マウスを用いた表示範囲の移動や拡大・縮小によって、詳細な部分まで閲覧できる。
- ③ **マップへの付箋貼り付け**: 災害安全マップの任意の場所にメッセージを書き込むことができる。
- ④ **多言語コメント**: 入力したコメントは自動で日本語、英語、トルコ語、フランス語に翻訳される。

*2 <http://www.kitamura-lab.jp/cosmos/>

CoSMOS の利用方法

① 世界地図から災害安全マップを選択する



② 災害安全マップが表示される

マウスによる表示範囲の移動や拡大・縮小が可能

③ 付箋の貼り方

付箋を貼る場所を決め、メッセージを書く

入力したメッセージは言語グリッドで多言語翻訳され、折り返し翻訳によってその精度を確認できる

コメントや付箋のテキストを含め、画面上の全ての表示言語が切り替わる

